



No.259  
2022.11.6

# 四季報

発行  
藤沢探鳥クラブ  
〒251-0038  
藤沢市鵜沼松が岡 5-13-13  
藤山方 0466-25-1817



ツミ（2021年11月藤沢市湘南台）撮影：秋山 孝

<11月例会> 11月20日（日）

## 小出川 & 茅ヶ崎里山探鳥会

（少し坂有り） ※雨天中止

慶応大学バス停を出発し、稲刈りの終わった田圃に囲まれた小糸川沿いを、正面に富士山を見ながら冬鳥を探します。茅ヶ崎里山公園まで歩き、昼食後に解散します。

**集合** 慶応大学バス停 9:00（参考：湘南台駅西口1番のりば 8:35 発 湘23系統 慶応大学行 8:46 終点下車）

**持ち物** 観察用具、弁当、飲み物、マスク、雨具等

**解散** 里山公園にて 13:00 頃

**担当** 青山 0466-87-2489・嶋岡 0466-50-5816

<12月例会> 12月18日（日）

## 境川遊水地公園探鳥会 その2（再挑戦）

<平坦> ※雨天中止

今回は、何時もと違うルートで、ゆめが丘駅から和泉川ぞいを経て境川遊水地公園までゆっくりと歩きます。昨年10月に計画したのですが、雨天中止になったものです。

**集合** 相鉄線ゆめが丘駅改札口 9:00  
（参考）小田急藤沢発 8:28 相模大野行乗車→湘南台 8:37 着 相鉄線乗換え 8:50 発→ゆめが丘駅着 8:53

**持ち物** 観察用具、弁当、飲み物、マスク、雨具、等

**解散** 現地 13:30 頃予定

**担当** 藤山 0466-25-1817・田中 0466-27-2384

## 川名通年探鳥会

9月4日(日) 8:05~11:00 晴れ

藤本 悦朗

4ヶ月ぶりに川名探鳥会に参加しました。残暑が厳しいので参加者は少ないかと予想していたのですが、20名近くの参加者で大盛況のスタートでした。ただ朝から蒸し暑かったせいか、東奥田公園までさっぱり鳥の姿が見れません。

意気消沈の出足でしたが、境川沿いに到達すると心地よい風とともにヒメアマツバメの飛び交う姿に出会い、更に柏尾川沿いの散策では親子らしきイソヒヨドリの姿やカワセミのホバリング姿も観察できて満足できる探鳥会でした。

時期的に鳥の数はやや少なめでしたが、川名清水谷戸周辺での蝶やトンボ、セミなど多くの昆虫との出会いがあり会員の方々の説明を拝聴して勉強にもなりました。

**見聞きした鳥** メジロ、シジュウカラ、アオサギ、ハクセキレイ、イソヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ムクドリ、カワセミ、カワウ、ヒメアマツバメ、ヒヨドリ、カルガモ、

モズ、ハシブトガラス、カルガモ、コゲラ、キジバト(18種) 外来種: ドバト

**参加者** 深田太、深田ゆみ、秋山孝、相原年夫、橋本孝、谷誠一、飯島秀子、石井浩子、下里由香、田中正信、青山喜行、佐藤武、藤本悦朗、菅谷芳雄、大橋温子、福田修子、嶋岡章、藤山素子(18名)

10月2日(日) 8:05~11:00 晴れ

福田 修子

やっと猛暑が去り残暑ながら爽やかな風が心地よい日になりました。夏鳥が去り少し寂しい探鳥会でした。



(獲物を啜ったカワセミ同日撮影 嶋岡章)

### 表紙写真説明 2021年10月湘南台

2021年10月のある日、湘南台の我が家での出来事です。

親戚に頼まれて、ややこしいことをしていました。疲れたので、立ち上がってストレッチをしながら、ふと庭を見ました。

「ん、何、えっ、あっ、ツミだ。」

我が家の庭にツミが居るなんて、ビックリです。目に黄色いアイリングがあり目は暗紅色、ツミのオスです。ハナミズキの枝に留まっていたのですが、私の背の高さぐらいで切った切り株に移動しました。切り株で何かをむしって食べているではありませんか。確認するとスズメのようです。

我が家の上空で、ツミがスズメを仕留めたのでしょうか。食事が終わって、どこかに飛んで行きました。

「いや〜〜ビックリしました。」

表紙の写真は、切り株で食事をしている姿です。

岸辺でカワセミが不相応な大きな獲物を啜えて悪戦苦闘、地面に叩きつけたりしながら呑み込むまで、ゆっくり観察出来ました。

キセキレイに久しぶりに出会い、カルガモは一羽のみでした。トンボが多く見られ秋の訪れを感じました。

新林公園の記念樹次郎柿には2個実がなり、葉には黒斑が付いていました。

**見聞きした鳥** メジロ、シジュウカラ、アオサギ、ハクセキレイ、カワウ、モズ、スズメ、イソヒヨドリ、キセキレイ、カワセミ、トビ、ムクドリ、カルガモ、ヒメアマツバメ、コゲラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、ヒヨドリ (19種)

**参加者** 徳江祐子、相原年夫、城殿博、佐藤武、飯島秀子、谷誠一、田中正信、石井浩子、菅谷芳雄、福田修子、青山喜行、森静子、嶋岡章、大橋温子、橋本孝、藤山素子 (16名)

## 弘法山探鳥会

9月18日 台風による雨天のため中止

## 寺家ふるさと村周辺探鳥会

10月16日(日) 9:25~14:30 晴れ

藤山素子

雨の日の多い中の晴れの日となりました。寺家ふるさと村ではすでに稲刈りが終わった田、刈っている田と色の対比が美しい中、モズがあちこちで様々な鳴き声で主張している。トンボや秋の草花を観察しながら鳥の声を頼りに歩き、大池の奥でエナガ、シジュウカラ、コゲラ、メジロの混群に出会う。



(コムラサキ♀同日撮影 田中正信)

昼食後、鶴見川に向かって歩くとあたりは柿の畑、ヒヨドリ、オナガも？ついばんでいた。川の流れが緩やかなところではカルガモやコガモが泳いだりひなたぼっこをしており、秋の日差しのもとで羽の美しい色が映えていた。河畔では種々のチョウが飛び、T氏が写真撮影したものがコムラサキ♀であることが判った。

注意深く観察するといろいろな発見があることを実感。観察も終盤に入る頃、イカルチドリ3、ゴイサギ成鳥1幼鳥2、バン1を観察、締めではチョウゲンボウ♀が鉄柱の足場に止まりじっくりと観察することができた。

谷戸ではツクツクボウシを、谷戸奥ではウグイスがさえずりのホーホケキョと地鳴きのチャッチャツの両方を聞き、季節の変わり目を感じた1日でした。

**見聞きした鳥** モズ、ハクセキレイ、キジバト、ハシボソガラス、スズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、コゲラ、アカゲラ、アオサギ、カワラヒワ、ヤマガラ、キセキレイ、セグロセキレイ、ムクドリ、イソシギ、カワウ、オナガ、カルガモ、コガモ、バン、イカ

ルチドリ、コサギ、ゴイサギ、チョウゲンボウ (29種)

カワセミも1人ずつ何度か確認しています。

外来種：ドバト、ガビチョウ、コジュケイ (3種)

特記：〈植物カントウヨメナ、トキリマメ〉  
〈蛾ホシホウジャク〉 〈トンボ：コノシメトンボ〉

**参加者** 谷誠一、佐藤武、城殿博、深田太、深田ゆみ、中村幸男、田中正信、相原年夫、鍋田里奈、鍋田小百合、吉澤三郎、飯島秀子、石井浩子、青山喜行、小林弘子、藤山素子 (16名)

## 江の島探鳥会

9月9日(金) 晴れ 8:35~11:30

谷 誠一

9月に成り急に秋を感じる気候に成りました。富士山も雲の上から藍色の頭を出しています。沖では、漁船の後ろに、ウミネコが20羽くらい波に漂っている。江の島港の前をアオサギ4羽が江の島に向かってくる。カンムリカイツブリが1羽崖の下に、岩屋では、オオミズナギドリの群れが鎌倉の方に向かって行くのが見えた。釣り人が徐々に増えてきました。イナダが釣れるそうです。

**見聞きした鳥** イソヒヨドリ、ハクセキレイ、カワウ、トビ、カルガモ、ウミネコ、スズメ、ハシボソガラス、カンムリカイツブリ、オオミズナギドリ、キジバト、コゲラ、メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、アオサギ、ムクドリ (17種) 外来種 ガビチョウ、ドバト (2種)

**参加者** 高橋和也、佐藤武、安永明、城殿博、藤山素子、田中一正、森静子、谷誠一 (8名)

10月14日(金) 霧雨のち曇り 8:30~11:45

谷 誠一

天気予報は曇り、集合時間には霧雨が降っていましたが、出発して30分位で止みました。ミサゴ2羽が江の島港と島の間で魚を物色、一羽が魚を捕ったが落とす。もう一羽が餌のようなものを啜えたり、足で掴んだりして上空を舞っていた。岩屋では、クロサギが遠くの岩に2羽、近くの岩に1羽、2羽は餌を探しているのか波が来るので忙しく動き回る。1羽は岩と同色で一体化し探すのに時間が掛かった。暫くして3羽は辻堂方面に飛び去りました。アサギマダラが3頭、アザミの花の周りを飛び回っています。管理人さんは、ここに住み着いた様だと話していました。

**見聞きした鳥** アオサギ、トビ、セグロカモメ、ミサゴ、カワウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、イソヒヨドリ、ヒヨドリ、クロサギ、ハクセキレイ、オオミズナギドリ、メジロ、ハヤブサ、ウミネコ、スズメ、モズ、シジュウカラ (18種)

**参加者** 深田太、深田ゆみ、野崎直子、城殿博、安永明、田中正信、高橋和也、谷誠一 (8名)

## 「前回258号 江島観察会の感想文訂正」

蝶の項目で、クロヒカゲをヒカゲチョウに訂正

(理由) クロヒカゲは茅ヶ崎市以东の湘南地区、三浦半島には生息して居ないので、ヒカ

ゲチョウの誤りではないかと、指摘が有りました。

読者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。(谷誠一)

## **新林公園の山道を歩く会**

9月13日(火) 9:00~12:00 晴れ

田中 正信

9月になっても残暑厳しい日でしたが、入口広場のケヤキの葉がわずかに黄色くなり始めているのを眺めつつ、山道を歩く会をスタートしました。鳥の姿は相変わらず深い緑に隠れ、観えたのはハシブトガラスとヤマガラのみ、鳴き声だけを合せて確認できた野鳥は7種だけでしたが、続く暑さの中で僅かですが季節が変わり始めていることに気づけました。

山道ではヤブランやノシランが各所で花を咲かせ、ヒヨドリバナやツリガネニンジンの花やゴンズイの実も観ることができました。

昆虫では、冒険広場にメスのシオカラトンボ(ムギワラトンボ)が多く飛んでいました。先月まではほとんどがオスだったのですが、秋になるとメスが増えるのでしょうか。また、飛び交うスズメバチに何度も遭遇し、一回は参加者の一人にキイロスズメバチがまとわりついて離れず、しばらく歩を止めてやり過ごすこととなりました。9月に入りスズメバチの活動が活発化していることが窺えました。蝉しぐれは、変わらずでしたが、その中に先月は多かったアブラゼミの鳴き声がほとんど無かったようです。

山道沿いの樹木の幹に不思議なものを発見、白色で4~5cm程度の楕円形の物体が目線高さの樹肌にへばりついており、厚みは3cm程度です。大福もちを押し付け張り付けたイメージです。参加者全員初めて見るもので、キノコだろうか、小動物の卵だろうか、不思議で誰にも分かりません。撮影して自宅でインターネットによりそれらしいものを調べた結果、朽木等に生育するマンジュウドロホコリという変形菌の一種ではないかと推測しています。

不思議な生き物にも出会えた会でした。来月はさらに進んだ季節の中で、又いろいろな生物と出会えるのではと思っています。

**見聞きした鳥** ハシブトガラス、メジロ、スズメ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、キジバト(7種) 外来種 ガビチョウ(1種)

**参加者** 大橋温子、藤山素子、橋本孝、徳江祐子、田中正信(5名)

10月11日(火) 9:10~12:50 晴れ

田中 正信



(ムラサキツバメ♀同日撮影 田中正信)

寒暖差が激しい中、秋へ季節は進んでいますが落葉はまだ少なく、野鳥の声は聞こえるものの、姿はなかなか見せてくれません。しかし混群と思われるシジュウカラやエナガ、メジロ達が元気な声を、またヒヨドリも多数の群となってやかましいほどの声を聞かせてくれました。

植物も秋らしくトリカブトが盛んに青い花を、ワレモコウが赤い花を、ウバユリが緑色で楕円形の実を、ホトトギスが白地に紫色の斑点がきれいな花を、ヒヨドリバナが白い花を、シロヨメナも可憐な白い花を、センニンソウは花後の白髭を、オケラも髭の様な白い花を見せてくれました。また、カントウカンアオイの花が地面すれすれにひっそりと咲いているのを観ることができました。

昆虫では、草地を飛ぶトンボがシオカラトンボからほとんどアキアカネに代わり、秋を感じさせました。山道の入り口付近に表翅が青紫色で尾状突起があるやや大型の見慣れぬシジミチョウがおり、調べるとムラサキツバメでした。温暖な照葉樹林に生息していたものが、分布域を広げてきているものだそうです。また、山道の先にはアサギマダラがとまっていました。アカボシゴマダラではないことを確認して一同大喜び。旅するチョウとして有名ですが、今年7月に新林公園で繁殖が確認されたそうです。我々が観た個体ももしかするとここで生まれ育ったものかもしれません。

先月の会で見つけたマンジュウドロホコリは、そのまま同じ木に残っていました。雨上がりのためか湿った感触に、色は純白からややくすんだ白に、形もやや変わったようで

す。さすがは変形菌、来月はどうなっているでしょうか。



(アサギマダラ 同日撮影 田中正信)

**見聞きした鳥** キジバト、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、トビ、ハクセキレイ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、カルガモ (12種)  
**外来種** ガビチョウ、コジュケイ (2種)  
**参加者** 大橋温子、藤山素子、田中正信 (3名)

## 行事等案内

### 川名 通年探鳥会

毎月第一日曜日 (1月は第二日曜日です)

12月4日 (担当: 橋本、未定)

1月8日 (担当: 藤山、未定)

集合場所

JR 藤沢駅南口名店ビル前地下道入り口付近

### 江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

11月11日 (金)・12月9日 (金)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

## 遠藤笹窪谷観察会

11月26日(土) ※雨天中止  
集合 9:00 解散 12:00頃  
集合場所 慶應大学バス停(旧スルガ銀行前  
(現在、駐車場になっています。))

連絡先 谷 0466-34-0381

## 新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止  
11月8日(火)・12月13日(火)  
集合 9:00 新林公園パーゴラの下  
解散 12:00頃 同上  
連絡先 橋本孝 0467-85-6077

## ユリカモメカウント

◆今年もユリカモメカウントをいたします。  
ご協力お願いいたします!◆  
恒例になりました年末のユリカモメカウント、  
30数年前と比べると2割?程度の飛来数ですが、  
このことも大事な記録です。各区を10時に  
下流から上流へ向かい、ユリカモメ、カワ  
ウ、オオバンをカウントします。ご協力いた  
だける方は下記にご連絡ください。

日時 2022年12月24日(土)  
各区間スタート 10:00~およそ30分間  
荒天時予備日 12月25日(日)

場所 引地川(6~7区間に分けて)、境川(8  
~9区間に分けて)、柏尾川(2区間で)

方法: 歩あるいは自転車で。ご協力者のご  
都合のよい区間を約30分で。

結果連絡法 担当藤山に

[Eメール motoko-f@jcom.home.ne.jp](mailto:motoko-f@jcom.home.ne.jp)

電話の場合は、当日18:00以降0466-25-1817  
へ

## ガンカモカウント

◇今冬ガンカモカウントを下記のように行い  
ます。ご参加お待ちしております◇

日時 1月21日(土) 集合 8:35 小田急線  
鶴沼海岸駅、8:45頃引地川河口R134 歩道橋  
下

荒天時予備日 1月22日(日)

解散 11:30頃しろした橋

区間 引地川河口→しろした橋(大庭、小糸  
川合流点)

申し込み不要

担当・連絡先 藤山(上記ユリカモメカウント  
と同じ)

**年会費について**

### 予告 〳〳〳 日帰りハクチョウ他観察会 〳〳〳

群馬県館林市の北西部にある「多々良沼」にハクチョウに会いに出かけましょう。

日時 1月29日(日) ※雨天荒天、コロナ感染拡大時中止 その時は前日17:00に決定

集合 JR 藤沢駅改札 7:00頃、藤沢駅帰着 18:00前を予定。

交通費 JR「休日おでかけパス」利用で¥2,720- (JR区間内)

前日までに参加希望をご連絡ください。

担当・連絡先 藤山(ユリカモメカウントに同じ) 詳細は1月8日発行260号にて

年間 二千円です。納入されるときにはお間違えないようにお願いします。

**会費振込先**；郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行 029 店 当座 0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、探鳥会で現金でも受付ける事になりましたのでよろしくをお願いします。

### **ご寄附のお願い**

当クラブの活動運営のためにご支援をお願い致します。

※1,000円以上ご寄付くださった方には、藤沢探鳥クラブ特製のクリアファイルをプレゼントいたします。

(ファイルがなくなるまで!)

### **藤沢探鳥クラブ連絡先等**

藤山 素子 0466-25-1817

HP アドレス；

<https://fujsbwc.jimdofree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

### **投稿のお願い**

- 前回 (285号) より、印刷会社を変更しました。写真がカラーになり掲載しやすくなりました。今回表紙だけでなく探鳥会の感想に写真を添付し

てみました。探鳥会での写真も是非投稿して下さい。

- 以前「自然の声」を掲載していましたが立ち消えになってしまいました。クラブの皆さんが容易に投稿できるコーナーを検討中です。素朴なQ&Aのコーナーはどうかと考えています。例えば、

#### 例) 野鳥 Q&A

Q；鳥の嘴は、歯なのか唇なのかどつちでしょうか？

A；歯が、進化又は退化して嘴になった？という説もありますが不明です。

最初はQを貰って次号でAを掲載するコーナーを作る。と言うように。まずは質問Qを募集します。下記嶋岡まで

異常な暑い夏が過ぎたら、急に寒くなってきました。冬鳥も来始めています。コロナ対策、寒さ対策に留意して出かけましょう。

投稿先を下記します

皆様のご協力をお願いします

嶋岡 章 (原稿)

〒251-0052 藤沢市藤沢 545-72-401

e-mail : akiras.shimaoka@gmail.com

電話/FAX 0466-50-5816

青山 喜行 (写真)

〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5

e-mail : aoyama-y@jcom.home.ne.jp